

## 神楽坂の名画座ギンレイホールがクラウドファンディングを6月19日より開始！



東京・神楽坂の名画座ギンレイホール（東京都新宿区神楽坂2-19、館主：加藤 忠）はコロナ禍を乗り越えて名画座文化を継承するために、2020年6月19日よりクラウドファンディングプラットフォームのMotionGalleryにて「開館60周年ギンレイホールの挑戦！」としてクラウドファンディングを開始いたします。7月31日まで実施し、目標金額は10,000,000円。支援いただいた資金は、映画館の家賃支払いやデジタル映写機の保守費用など映画館の運営に使用させていただきます。

### ◆クラウドファンディングページ

<https://motion-gallery.net/projects/ginreihall>

（検索ワード MOTIONGALLERY ギンレイホール）

※支援の期間：2020年6月19日10時～7月31日23時59分

※支援の内容：3,000円～200,000円まで各種。リターンとして1年間ギンレイホールへ入場可能なギンレイシネマクラブ年間パスポート（シングル／ペア／グループ各種）ほかオリジナルTシャツ、トートバッグ、クリアファイル、フィルム缶など。

### ◆プロジェクトの概要

ギンレイホールはコロナ禍による4月8日から2か月間休館を余儀なくされました。年中無休の映画館としては2か月も映写機を止めたのは初めてのことです。2月中旬からの観客の減少に始まり営業自粛要請による2か月の完全休業までの損失は甚大で、この間今後の運営の対応に迫られて参りました。6月、待ちに待った再開後もお客様の安全安心のため、座席は半数以下に間引いたり上映回数も減らすなどフル稼働にはほど遠く、人件費等のコスト削減努力は続けておりますが、このままの状態ではコロナの完全終息まで維持していくのは大変厳しい状況が予想されます。

今から「ウィズ・コロナ」「アフター・コロナ」の長期戦を見据えて、シネマクラブ会員のみならずギンレイホールを長く愛して下さるすべてのファンのためにも、そして、神楽坂の映画文化～名画座ギンレイホールの灯を守り抜いて未来へつなぐためにも、覚悟をもってこのプロジェクトを立ち上げました。

#### ◆ギンレイホールについて

ギンレイホールの前身は木造1階建ての「神楽坂銀鈴座」という松竹系の封切館で、映画全盛期の名作の上映館でした。しかし、昭和33年12月に火災により全焼し、昭和35年(1960年)に5階建ての銀鈴会館ビルが再建され、冷暖房完備289席を備えた「銀鈴ホール」が新たに誕生しました。当時飯田橋駅から神楽坂方面を望む一番高いビルで駅のホームからよく見えたそうです。そして1974年現在のスタイルの名画座となり「ギンレイホール」というカタカナの名前になって、これまで洋画・邦画を問わず数多くの作品を上映してきました。今年は再建した「銀鈴ホール」から数えて通算60周年を迎えます。

#### ◆ギンレイホール館主からのメッセージ

今日社会ではデジタル化の促進とオンライン事業の拡充が叫ばれているなかで、映画もネット配信の時代に入りました。事実、映画館が休業していたこの期間には、配給会社やミニシアターが映画ファンや映画経済のためとしてデジタル配信を行ってきました。

デジタル配信が加速する一方で、名画座の生きてゆく道は厳しい現実を帯びてきています。コロナ終息後も睨んでも今こそ名画座の真価が問われています。ギンレイホールも生き残りを掛けて挑戦していかなければなりません。劇場映画の魅力は暗闇の空間で互いに知らない者同士が映画を通じて《感動》を共有するところにあると思っています。この《感動》の共有こそが映画館の存在価値を認めていただける「原点」だと思います。ギンレイホールはこの「原点」を追い求めて、名画座の看板に恥じない映画を用意して、ファンの皆さまが映画館に来て映画を楽しんでいただけるよう努力を重ねる覚悟でおります。

どうか皆さまのご支援ご協力をお願い申し上げます。

\*\*\*\*\*

本件に関するお問い合わせ先

ギンレイホール 担当：久保田・藤永 TEL：03-3269-3852 MAIL：ginrei@ginreihall.com